

平成27年度

# 一般入試学生募集要項

## 【前期日程】

出願期間	平成27年1月26日(月)～2月4日(水)
試験日	平成27年2月25日(水) 経済学部・医学部看護学科・工学部 平成27年2月25日(水)・26日(木) 教育福祉科学部・医学部医学科
合格者発表	平成27年3月6日(金)

## 【後期日程】

出願期間	平成27年1月26日(月)～2月4日(水)
試験日	平成27年3月12日(木) 教育福祉科学部・経済学部 医学部看護学科・工学部
合格者発表	平成27年3月20日(金)

# 目 次

	ページ
アドミッション・ポリシー	2
1. 募集人員	16
2. 志願学部・学科等	17
3. 出願資格	17
4. 出願期間	18
5. 出願に必要な書類等	18
6. 個人情報の取扱い	20
7. 入学資格審査	20
8. 障がいのある者等の事前相談	21
9. 震災により被災した者，または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談	21
10. 受験票	21
11. 入学者選抜方法	22
12. 平成27年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点	23
13. 一般入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）	41
14. 個別学力検査の日程及び検査時間	44
15. 受験に際しての注意事項	46
16. 検査場	46
17. 不正行為の取扱い	49
18. 合格者発表	49
19. 入学手続	49
20. 追加合格	50
21. 情報提供	50
22. 入試過去問題の使用	51
23. その他	51
24. 受験の際の宿泊	51
25. 大分大学学生寮のご案内（予告）	52
26. 平成26年度入学者選抜に関する入試状況	53
27. 平成26年度一般入試合格者の成績	54

一般入試出願書類等【前期日程】

一般入試出願書類等【後期日程】

# 大分大学アドミッション・ポリシー

## 基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

## 教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

## 求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

# 教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

## 教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。（学校教育課程）
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。（情報社会文化課程）
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。（人間福祉科学課程）

## 求める学生像

〈学校教育課程〉

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

〈情報社会文化課程〉

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人（社会文化コース）
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人（情報教育コース）
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人（総合表現コース）

〈人間福祉科学課程〉

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人（社会福祉コース）
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人（心理分野）
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人（スポーツ・健康分野）
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人（生活分野）
- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人（環境分野）

## 入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、社会人入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。（一般入試のみ抜粋）

### ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では募集単位ごとに小論文、教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能、感性、基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

### ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また、個別学力検査は募集単位ごとに面接又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

## 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センター試験で課している教科・科目について、及び一般入試（前期日程）において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。推薦入試、帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試や一般入試（後期日程）においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

**国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。

なお、習得しておくべき科目は国語総合、国語表現Ⅰ、現代文、古典です。

**地理歴史、公民**：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

**数学**：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことが必要です。

なお、習得しておくべき科目は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bです。

**理科**：基礎的な概念について理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに、知識の暗記だけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考

え方を身につけていることも必要です。

**外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと，話すこと，読むこと，書くことに関する基礎的な能力を身につけ，積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが必要です。特に情報や考えなどを的確に理解したり，適切に伝えたりする力を養い，国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが望まれます。

なお，習得しておくべき科目は英語Ⅰ，英語Ⅱ，リーディングです。

# 経済学部アドミッション・ポリシー

## 教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

## 求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学者は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

## 《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めます



が、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

#### 〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

#### 〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

#### 〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

### 入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

#### ・一般入試（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

#### ・一般入試（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

#### ・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

#### ・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

#### ・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的



思考力，表現力(日本語能力を含む)をみます。面接では，経済社会への知的好奇心や勉学意欲，自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し，小論文，面接，提出書類を総合して選考します。小論文では，社会科学的素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力をみます。面接では，経済社会への知的好奇心や勉学意欲，自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択），小論文，面接，提出書類を総合して選考します。小論文では，社会科学的素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では，経済社会への知的好奇心や勉学意欲，自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語，小論文，提出書類を総合して選考します。小論文では，社会科学的素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力をみます。

### 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

経済学部の教育は，高等学校等において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので，大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

**国語**：資料や文章の読解力や大意把握力，自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

**地理歴史，公民**：基礎的な知識と政治，経済，社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

**数学**：基本的概念や原理・法則を理解することに加え，論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても，簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

**理科**：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

**外国語（英語）**：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力，ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。

# 医学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

## 教育の目標

### 〈医学科〉

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

### 〈看護学科〉

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

## 求める学生像

### 〈医学科〉

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

### 〈看護学科〉

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

## 入学者選抜の基本方針（一般入試のみ抜粋）

### 〈医学科〉

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科(物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から2科目選択)，数学，英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等，受験者の素養を評価します。その際，高等学校等の調査書を参考資料とします。

〈看護学科〉

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，看護学科では，一般入試と推薦入試を実施し，それぞれの選抜の趣旨に従って，多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また，社会人を対象とした入試や，看護系短期大学・専修学校の卒業生等を対象とした3年次編入学を実施しています。

・一般入試（前期日程・後期日程）

一般入試では，高等学校での教科面における学習の達成度をみるため，大学入試センター試験については5教科5科目を課しています。また，個別学力検査については，前期日程では小論文を課すことにより，論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

**高等学校等の段階で習得すべき知識・能力**

医学・医療を学ぶには，十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性，倫理性，社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は，高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識，技能，思考力，体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については，入学までに確実に習得することが必要です。

〈医学科〉

**国語**：他者の考え・気持ちを理解し，自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力を磨くことが必要です。

**地理歴史，公民**：各科目の基礎的知識，社会的常識と思考力を身につけていることが必要です。

**数学**：理系数学（数学Ⅲ・数学Bの範囲まで）の知識，応用力と数理的思考力を身につけていることが必要です。

**理科**：物理基礎・物理（注1），化学基礎・化学（注2），生物基礎・生物（注3）の知識と理学的思考力を身につけていることが必要です。

（注1）旧教育課程履修者においては，物理Ⅰ・物理Ⅱ

（注2）旧教育課程履修者においては，化学Ⅰ・化学Ⅱ

（注3）旧教育課程履修者においては，生物Ⅰ・生物Ⅱ

**外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力，外国語文献を読解し，外国語で発表する基礎的語学力を身につけていることが必要です。

**保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要で。

〈看護学科〉

**国語**：他者の考え・気持ちを理解し，自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力を磨く必要があります。

**地理歴史，公民**：社会科学的な基礎知識と思考力を身につけている必要があります。

**数学**：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的知識，応用力と数理的思考力を身につけている必要があります。

**理科**：物理基礎・物理（注１），化学基礎・化学（注２），生物基礎・生物（注３）の知識と理学的思考力を身につけている必要があります。

（注１）旧教育課程履修者においては，物理Ⅰ

（注２）旧教育課程履修者においては，化学Ⅰ

（注３）旧教育課程履修者においては，生物Ⅰ

**外国語（英語）**：国際的視野に立つ思考力，会話力を身につけている必要があります。

**保健体育**：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能が必要です。

# 工学部アドミッション・ポリシー

## 基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

## 教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆめぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

## 求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力を持ち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力を持ち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

### 〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

### 〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技

術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科では次のような人を求めています。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

#### 〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的IT（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めています。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

#### 〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

#### 〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

##### ・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質を向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必要となります。

本コースは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力、



豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家，建築技術者，研究者の育成を目標としています。そのため本コースは次のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学，人文，社会科学並びに芸術の分野に関心があり，幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人

・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置（=Mechanics+Electronics，ロボットはその一例）は，多くの人の負担を軽減すると共に，今まで人にしかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは，このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし，次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち，これを育もうとする人
- 2 理工学，人文並びに社会科学の分野に関心があり，メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

### 入学者選抜の基本方針

本学部では，多様な観点から受験者の学力や資質をみるため，一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試，帰国子女入試，私費外国人留学生入試などを実施し，アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。（一般入試のみ抜粋）

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学，理科）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに，個別学力検査（面接）により，専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

### 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

工学部の教育においては，高等学校において学習する以下のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため，理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については，入学までに身につけるよう期待します。

**国語**：他者の考え・気持ちを理解するとともに，文章や資料等を的確に理解し，論理的に考え，話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。



**地理歴史，公民**：基礎的な知識を習得するとともに，地理，歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけ，政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心を持つことが必要です。

**数** **学**：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bについて，基礎的な計算技能を習得するとともに，基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また，数学的な見方・考え方を身につけ，物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

**理** **科**：物理基礎・物理（注1）および化学基礎・化学（注2）について，基礎的な概念を理解するとともに，科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。

（注1）旧教育課程履修者においては，物理Ⅰ・物理Ⅱ

（注2）旧教育課程履修者においては，化学Ⅰ・化学Ⅱ

**外国語（英語）**：外国語（英語）を聞くこと，話すこと，読むこと，書くことに関する基礎的な能力を身につけ，積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ，国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが必要です。

# 1. 募集人員

学部	課程・学科・コース	入学定員	募集人員							
			一般入試			推薦入試		AO入試		
			前期日程		後期日程					
教育福祉部	発達教育コース【注1】	25	19【注4】②④		6					
	特別支援教育コース	10	3【注4】②④		2	5				
	学校教育課程 教科教育コース【注1】	65	小論文と国語	6名程度	41【注4】②④	11	音楽選修	2	9	
			小論文と社会認識	6名程度			美術選修	2		
			小論文と数学	6名程度			保健体育選修	2		
			小論文と理科	6名程度			家庭科選修	3	4	
			小論文と実技(音楽)	3名程度			技術選修			
			小論文と実技(美術)	3名程度			普通推薦	2		
	小論文と実技(保体)	3名程度	工業推薦	2						
	小論文と生活認識	2名程度								
小論文と英語	6名程度									
小計	100	63		19	18					
情報社会文化課程	社会文化コース	15	7【注4】①②③④		3	5				
	情報教育コース	20	11【注4】①②③④		4	5				
	総合表現コース	15	7【注4】①②③④		3	5				
	小計	50	25		10	15				
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24【注4】①②③④		5	普通推薦	5	6		
	心理健康福祉コース【注1】	30	心理分野	7	14【注4】①②③④	心理分野	3		5	
			スポーツ・健康分野	7		スポーツ・健康分野	5	3		
	生活環境福祉コース【注1】	30	生活分野	10	20【注4】②④	生活分野	3	2		
環境分野			10	環境分野		3	2			
小計	95	58		19	18					
計	245	146		48	51【注3】					
経済学部	経済学科	130								
	経営システム学科	130	120		90【注4】①③④		普通推薦	50	英語資格 簿記資格 5 15	
	地域システム学科	45					商業推薦	25		
	計【注2】	305					75【注3】		20【注3】	
医学部	医学科	100	65		-		-		35 (地域枠13を含む)	
	看護学科	60	35		15【注4】③		10			
	計	160	100		15	10		35【注3】		
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	80	53【注4】①④		15	A推薦	9	B推薦	3	12
	電気電子工学科	80	52【注4】①④		14	A推薦	11	B推薦	3	14
	知能情報システム工学科	70	44【注4】①④		11	A推薦	10	B推薦	5	15
	応用化学科	60	38【注4】①④		10	A推薦	10	B推薦	2	12
	福祉環境工学科	建築コース	50	35【注4】①④		10	B推薦		5	5
		メカトロニクスコース	30	16【注4】①④		6	A推薦	6	B推薦	2
計	370	238		66	66【注3】					
合計	1080	604		219	202		55			

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

(ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から各選修への所属を決定します。

発達教育コース「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」「美術(5)」「保健体育(5)」「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※( )内は推薦入試等の他の入試での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

(イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに合格した分野に所属します。

心理健康福祉コース「心理分野」「スポーツ・健康分野」生活環境福祉コース「生活分野」「環境分野」

【注2】経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注3】推薦入試、AO入試の入学者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試(前期日程)で補充することがあります。

【注4】募集人員には、①帰国子女入試(若干名)、②中国引揚者等子女入試(若干名:教育福祉科学部のみ)、③社会人入試(若干名)、④私費外国人留学生入試(若干名)の募集人員を含みます。

## 2. 志願学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つの国公立大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

### （1）教育福祉科学部

志願できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。

### （2）経済学部

前期日程及び後期日程とも各学科の募集人員を一括して募集し、所属学科は入学後に決定します。

### （3）医学部

志願できる学科は、前期日程及び後期日程とも1つのみです。（ただし、医学科は後期日程は実施しません。）

### （4）工学部

（ア）志願できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。したがって、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科，電気電子工学科，知能情報システム工学科，応用化学科，福祉環境工学科(建築コース)，福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志願順に3つまでを選択することになります。また、第1志望のみ又は第2志望まででもかまいません。

（イ）前期日程において、第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目（理科）を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。

（ウ）前期日程において、**第2志望以下での個別学力検査受験科目（理科）**は、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」のいずれでもかまいません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照

## 3. 出願資格

平成27年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で本学が指定する**教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当する者です。

（1）高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者

（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成27年3月修了見込みの者

（3）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成27年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課へ申し出てください。（20ページの「7. 入学資格審査」を参照）

【注1】学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、実施しません。

【注2】出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

#### 4. 出願期間

平成27年1月26日（月）から2月4日（水）17時まで（必着）

- ・原則として出願は郵送とし、平成27年2月4日（水）17時必着とします。その際は、必ず本要項に添付されている日程毎（前期・後期）に色分けした封筒を用い、書留・速達で郵送してください。


ただし、2月4日（水）に限り持参を認めます。（受付時間は、9時から17時まで）

（注）出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

#### 5. 出願に必要な書類等

##### （1）出願書類等

書類等名	内 容 等	該 当 者
入学志願書 受験票 電算処理原票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、下記のを貼り付けてください。</p> <p>(1) 平成27センター試験成績請求票（国公立前期日程用又は国公立後期日程用）</p> <p>(2) 写真（縦4cm×横3cm，上半身，無帽，正面向きで，本人であると確認できるもの。）※写真裏面には，志願学部及び氏名を記入すること。</p> <p>(3) 志願課程・学科等及び受験科目貼付用紙</p> <p>(4) 入学検定料振替払込受付証明書等（大学提出用）</p>	
調 査 書	<p>(1) 高等学校等を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者は，文部科学省所定の様式により，出身高等学校長等が作成し厳封したもの。（平成27年3月卒業見込みの者については，2（前）学期末現在で作成したもの。）</p> <p>※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には，高等学校長等が作成した，①「調査書が発行できない旨の理由書」，②「卒業証明書」，③「成績証明書（又は単位修得証明書）」を調査書の代わりに提出してください。なお，③「成績証明書（又は単位修得証明書）」が得られない場合は，高等学校長等が作成した「成績証明書（又は単位修得証明書）」が発行できない旨の理由書を③の代わりに提出してください。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者は，合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし，高等学校等に在学したことがある者は，在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p> <p>(3) 高等専門学校第3学年修了（見込みを含む。以下同じ。）者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は，出身校において文部科学省所定の調査書に準じて作成したものををもって調査書に代えることができます。</p> <p>(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した（見込みを含む。以下同じ。）者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの，国際バカロレア資格取得者，アビトゥア資格取得者，バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は，当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。</p> <p>(5) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により入学資格を認定された者は，当該教育施設において作成した成績証明書又は文部科学省所定の調査書に準じて作成したものををもって調査書に代えることができます。</p> <p>※改姓等により，現在の氏名と調査書等の氏名が相違する場合は，戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。</p>	全 員 （前期，後期とも出願する場合は2通必要です。）
曲 目 調 査 票	<p>教育福祉科学部学校教育課程教科教育コースの個別学力検査（前期日程）を音楽（実技）で受験する者・情報社会文化課程総合表現コースの個別学力検査（前期日程）実技のうち音楽表現で受験する者は，本学所定の用紙に必要事項を記入してください。</p>	
志 願 調 書	<p><b>医学部看護学科（後期日程）</b>を志願する者は，本学所定の用紙に志願者本人が自筆で記入してください。</p>	

受験票返信用封筒	<p>本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、<b>362円分の切手を貼つ</b>てください。</p>	
入学検定料振替払込 受付証明書等 (17,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p><b>①金融機関（郵便局を含む）での振込</b>  <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続を行ってください（ATM不可）。</b></p> <p><b>②コンビニエンスストアでの振込</b>      本学ホームページ（<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>）から振込専用ホームページ（<a href="#">メニュー</a>→<a href="#">入試情報</a>→<a href="#">入学検定料のコンビニ収納</a>）へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。  <b>【振込専用URL】</b> <a href="https://www.oita-u.net/">https://www.oita-u.net/</a>  <b>【携帯電話用URL】</b> <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a>      ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p>  <p>振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を、②の場合は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票下の貼付欄にはがれないよう糊付けしてください。      ※手数料は本人負担です。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。（前期日程で合格したために、後期日程を受験しない場合も入学検定料は返還できません。）      (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合（返還額：17,000円）      (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合（返還額：17,000円）      (ウ) 出願受付後に、大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（返還額：13,000円）      (エ) 医学部の第1段階選抜で不合格となった場合（返還額：13,000円）      ※（ア）及び（イ）に該当する場合は、20ページ「（4）入学検定料の返還請求」を参照してください。      ※（ウ）、（エ）に該当する場合は、本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。</p>	<p><b>全 員</b>          （前期、後期とも出願する場合は2通必要です。）</p>
住所シール	<p>本学所定の住所シール①~④すべてに、合格通知等を受け取る住所等を記入してください。</p>	

(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）のAO入試及び推薦入試合格者は、合格した大学・学部の定める手続により、当該大学・学部への入学辞退を許可された場合を除き、個別学力検査を受験しても本学の合格者とはなりません。  
 ※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照
- (イ) 国公立大学の前期日程に合格し、入学手続を行った者は、後期日程を受験しても本学の合格者とはなりません。
- (ウ) 出願書類等に不備があるものは受付できません。（出願書類提出前に本要項添付の出願用封筒裏面の出願書類等一覧表の志願者確認欄により、出願書類等を確認してください。）
- (エ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。誤りのないよう記入（貼付）してください。
- (オ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (カ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (キ) 出願にあたっては、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入試センター試験の教科・科目（24～35ページ参照）を受験しているか、必ず志願者本人が確認の上、入学志願書の「センター試験受験科目確認欄」に○を付けてください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入試センター試験の成績提供を受けた結果、志願する学部・課程・学科・コース等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学個別学力検査を受験することができません。



(ク) 入学志願書に「平成27センター試験成績請求票（国公立前期日程用又は国公立後期日程用）」を貼付していない場合は、出願を受理できません。（「平成27センター試験成績請求票（国公立前期日程用又は国公立後期日程用）」を紛失している場合は、大学入試センター試験受験案内を参照の上、至急、独立行政法人大学入試センターに再発行申請を行ってください。）

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合及び入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～④を明記した「入学検定料返還請求願」（様式任意）を作成し、「振替払込受付証明書（大学提出用）」又は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受理後、返還に必要な書類を送付します。

・入学検定料返還請求願に記載する事項

①氏名（フリガナ）、②郵便番号及び住所、③連絡先電話番号、④返還請求理由

・請求期限：平成27年2月27日（金）

・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

※入学検定料の返還は、3月以降になります。

## 6. 個人情報の取扱い

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センター試験の受験番号、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2) 志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した場合には、選考資料として利用します。

## 7. 入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、入学資格認定の審査を行いますので、事前に学生支援部入試課へ申出を行い、関係書類を平成27年1月9日（金）（ただし、大学入試センター試験を受験後、本学に志願変更した場合は平成27年1月21日（水））までに提出してください。

<参考> 学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

申出先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）

## 8. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

### (1) 申出期限

平成26年12月19日（金）17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

### (2) 申出方法

本要項に添付している「平成27年度大分大学入学者選抜試験受験上の配慮申請書（健康診断書等必要書類添付）」を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。

※ 大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた場合は、その写しを添付してください。

### (3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

## 9. 震災により被災した者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談

東日本大震災により被災した入学志願者、または震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し、特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

### (1) 申出期限

平成26年12月19日（金）17時までに申し出てください。

### (2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

### (3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災に関する入試情報については、本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に詳細を掲載しています。

## 10. 受験票

受験票は、出願期間終了後、出願資格を確認の上、平成27年2月12日（木）頃に、志願者本人宛に発送します（医学部は、第一段階選抜後発送。詳細は「11. 入学者選抜方法」を参照）。

なお、個別学力検査当日は「大分大学受験票」と「大学入試センター試験受験票」の2種類を忘れずに持参してください。



## 11. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

### (1) 調査書について

出身高等学校長等が作成したものとします。

### (2) 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成27年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

### (3) 第1段階選抜について

医学科及び看護学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

#### ①前期日程

医学科は募集人員の約3倍、看護学科は募集人員の約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査を実施します。

#### ②後期日程

看護学科は募集人員の約7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査を実施します。

第1段階選抜については、平成27年2月11日（水）に合否を決定し、郵送によりその旨本人に通知します。なお、合格者には併せて受験票を同封します。

### (4) 同点者の取り扱いについて

#### 教育福祉科学部

それぞれの入試区分において同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

#### 医学部

##### 【前期日程】

- ・同点者がいる場合は、医学科は大学入試センター試験の数学Ⅰ・数学A、（旧数学Ⅰ・旧数学A）の高得点者、大学入試センター試験の外国語の高得点者の順に高順位とします。

看護学科は大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

##### 【後期日程】

- ・後期日程は、看護学科のみ実施します。
- ・同点者がいる場合は、大学入試センター試験の高得点者を高順位とします。

## 12. 平成27年度入学者選抜の実施教科・科目等及び配点

### 教科・科目名の表記方法について

1 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

・国語→国

『国語』→「国」

・地理歴史→地歴

「世界史A」→「世A」，「世界史B」→「世B」，「日本史A」→「日A」，

「日本史B」→「日B」，「地理A」→「地理A」，「地理B」→「地理B」

※「同一名称のA・B出題科目」とは，「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」を指します。

・公民→公民

「現代社会」→「現社」，「倫理」→「倫」，「政治・経済」→「政経」，

『倫理，政治・経済』→「倫・政経」

※「同一名称を含む出題科目」とは，「倫理」と『倫理，政治・経済』，「政治・経済」と『倫理，政治・経済』を指します。

・数学→数

「数学I」→「数I」，『数学I・数学A』→「数I・数A」，

「数学II」→「数II」，『数学II・数学B』→「数II・数B」，

「工業数理基礎」→「工」，『簿記・会計』→「簿」，『情報関係基礎』→「情報」

「旧数学I」→「旧数I」，『旧数学I・旧数学A』→「旧数I・旧数A」，

『旧数学II・旧数学B』→「旧数II・旧数B」

・理科→理

「物理基礎」→「物基」，「化学基礎」→「化基」，「生物基礎」→「生基」，「地学基礎」→「地基」，

「物理」→「物」，「化学」→「化」，「生物」→「生」，「地学」→「地学」

※「基礎を付した科目」とは，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。

※「基礎を付さない科目」とは，「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。

※「同一名称を含む出題科目」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」を指します。

「理科総合A」→「理総A」，「理科総合B」→「理総B」

「物理I」→「物I」，「化学I」→「化I」，「生物I」→「生I」，「地学I」→「地学I」

・外国語→外

『英語』→「英」，『ドイツ語』→「独」，『フランス語』→「仏」，『中国語』→「中」，

『韓国語』→「韓」

(注) 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 個別学力検査の出題教科・科目名は，上記1によるほか次のように略しています。

・「数学A」→「数A」，「数学B」→「数B」，「数学III」→「数III」

・「英語I」→「英I」，「英語II」→「英II」

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
教育福祉 科学部 [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	学校 教育 課程 発達教育 25人 前期 19 後期 6	前期 2月25日	国	国	外 その他	英Ⅱ 小論文	
			地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経			
		後期 3月12日	数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4	その他	面接	
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※4			
	特別支援 教育 10人 前期 3 後期 2 推薦 5	前期 2月25日	国 数 外 その他	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国 数 外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 小論文  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	
			その他	面接			
		後期 3月12日	その他	面接			
	教科教育 65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国	国	国 その他	国 小論文  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」	
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
		後期 3月12日	地歴 公民 理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1又は2 ※2 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から2 ※4	その他 その他	社会認識を問う問題 小論文	
外			英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 小論文  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」		

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④
- ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	50	200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	50	100			100			550	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	[100]※5		[100]※5		[100]※5		100				200	
計	200 100 100	100	100 200 100	50	100 100 200		100				650	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								100			100	
計	100	100	100	50	100			100			550	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人 追加合格
個別学力検査	100						100				200	
計	200	100 50	100	50 100	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	
個別学力検査		社会認識を問う問題 100					100				200	
計	100	200 150	100	50 100	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	
個別学力検査			100				100				200	
計	100	100 50	200	50 100	100		100				650	

※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
教育福祉 科学部 [5.6]  245人 前期 146 後期 48 推薦 51	教科教育  65人 前期 41 後期 11 推薦 13	前期 2月25日	国	国	理	物基・物 化基・化 生基・生 地基・地学 から1 小論文	
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2 ※2			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1又は2 ※2			
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 } ※1			
			公民理	③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から2 ※4			
		前期 2月25日 と26日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	その他	実技 (音楽) 小論文	
			公民理		その他	実技 (美術) 小論文	
			その他		その他	実技 (保健体育) 小論文	
			その他		その他	生活認識を問う問題 小論文	
			その他		外 その他	英Ⅱ 小論文	
			その他		その他	面接	
情報社会文化課程  15人 前期 7 後期 3 推薦 5	社会文化  15人 前期 7 後期 3 推薦 5	前期 2月25日	国	国	国外	国 英Ⅱ  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2 ※2			
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4			
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 } ①又は② ※4			
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕			
		後期 3月12日	国	国	その他	面接	
			地理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1			
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕			
			その他		その他	面接	
			その他		その他	面接	

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④  
 ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。  
 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人  追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	100 50	100	150 200	100		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	100		100	100			650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100	100			200	
計	100	100 50	100	50 100	100		100	100			650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100		生活認識を問う問題 100	100				200	
計	100	100 50	100	50 100	100	100	100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	100 50	100	50 100	200		100				650	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人  追加合格
個別学力検査				100					100		100	
計	100	100 50	100	50 100	100				100		550	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	追加合格
個別学力検査	100			100	100						200	
計	200	100	100	50	200						650	
センター試験	150	(100)			150						400	追加合格
個別学力検査									100		100	
計	150	100			150				100		500	

※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜				
教育福祉 科学部 [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51	情報教育 20人 前期 11 後期 4 推薦 5	前期 2月25日	国	国	外国 数	英Ⅱ 国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 ※5 ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ、 現代文、古典」 数Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数Bは「数列、ベクトル」				
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1						
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4						
			理	③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※7 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から2 ※4 } ③又は④						
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目〕						
			後期 3月12日	国	国	その他	面接			
				数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4					
				理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※4 } ①又は②					
				外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科5～6科目〕					
				国	国					
				外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔2教科2科目〕					
	総合表現 15人 前期 7 後期 3 推薦 5	前期 2月26日	国	国	その他	実技				
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1						
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※4 } ①又は② ※6						
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), } から2 工, 簿, 情報 ※4						
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3～4科目〕						
		後期 3月12日	国	国	その他	実技				
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔2教科2科目〕						
			国	国						
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔2教科2科目〕						
			国	国						
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
人間福祉 科学課程 35人 前期 24 後期 5 推薦 6	社会福祉 35人 前期 24 後期 5 推薦 6	前期 2月25日	国	国	外 その他	英Ⅱ 小論文				
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 ※2						
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経						
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4						
			後期	3月12日				その他	面接	
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※4 } ①又は②						
		後期 3月12日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	その他	面接				
			理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から1 ※4 } ①又は②						

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。  
 ※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。  
 ※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。



大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の 入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人
個別学力検査	(100)※5		(100)※5		100						200	
計	200 100	50	100 200	100	200						650	
												追加合格
センター試験	100		50×2	①(25×2) ②(50)	150						400	
個別学力検査								100			100	
計	100		100	50	150			100			500	
センター試験	100	(100)	(50×2)	①(50×2) ②(100)	100						300	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人
個別学力検査								350			350	
計	100	100	100	100	100			350			650	
				100								追加合格
センター試験	100				100						200	
個別学力検査								300			300	
計	100				100			300			500	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人
個別学力検査					100		100				200	
計	100	100	100	50	200		100				650	
												追加合格
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査								150			150	
計	100	100	100	50	100			150			600	

※6 「地理歴史」及び「公民」から1科目、「理科」の①もしくは②又は「数学」から2科目

※7 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
教育福祉 科学部 [5.6]  245人 前期 146 後期 48 推薦 51  人間福祉科学課程 心理 健康福祉 30人 前期 14 後期 8 推薦 8  スポーツ・健康分野  生活環境福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	前期 2月25日	国	国	国 数外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 小論文  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」	
		地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から2 ※2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経			
		数	数Ⅰ・数A，（旧数Ⅰ・旧数A）から1 ※4 数Ⅱ・数B，（旧数Ⅱ・旧数B）， 工，簿，情報から1 ※4			
		理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から1 } ①又は② ※4			
		外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕			
	後期 3月12日	国	国	国 数外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 実技  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」	
		数	数Ⅰ・数A，（旧数Ⅰ・旧数A）から1 ※4 数Ⅱ・数B，（旧数Ⅱ・旧数B）， 工，簿，情報から1 ※4			
		地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2 ※2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経			
		理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から2 ※4			
		外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕			
前期 2月25日 と26日	国	国	国 数外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 実技  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」		
	数	数Ⅰ・数A，（旧数Ⅰ・旧数A）から1 ※4 数Ⅱ・数B，（旧数Ⅱ・旧数B）， 工，簿，情報から1 ※4				
	地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2 ※2				
	公民	現社，倫，政経，倫・政経				
	理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から2 ※4				
	外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
後期 3月12日	国	国	国 数外 その他	国 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ ※5 実技  ※国は「国語総合」に「国語表現Ⅰ， 現代文，古典」 数Aは「場合の数と確率，図形の性質」 数Bは「数列，ベクトル」		
	数	数Ⅰ・数A，（旧数Ⅰ・旧数A）から1 ※4 数Ⅱ・数B，（旧数Ⅱ・旧数B）， 工，簿，情報から1 ※4				
	地歴	世A，世B，日A，日B， 地理A，地理B } から1又は2 ※2				
	公民	現社，倫，政経，倫・政経				
	理	①物基，化基，生基，地基から2 ②物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から1 } ※1 ③物基，化基，生基，地基から2と 物，化，生，地学から1 ※3 ④物，化，生，地学，（理総A，理総B， 物Ⅰ，化Ⅰ，生Ⅰ，地学Ⅰ）から2 ※4				
	外	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④  
 ※2 「地理歴史」においては，同一名称のA・B出題科目，「公民」においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。  
 ※3 「理科」において，同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は，「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は，出願資格を満たさないこととなります。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 私費外国人  追加合格
個別学力検査	[100]×5		[100]×5		[100]×5		100				200	
計	200		100		100						650	
	100	100	200	50	100		100					
	100		100		200							
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	50	100				150		600	
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査	[100]×5		[100]×5		[100]×5		100				200	
計	200		100		100						650	
	100	100	200	50	100		100					
	100		100		200							
センター試験	100	50×2	50×2	①(25×2) ②(50)	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	50	100				150		600	
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人  追加合格
個別学力検査	[100]×5		[100]×5		[100]×5		100				200	
計	200	100	100	50	100						650	
	200	50	100	100	100							
	100	100	200	50	100		100					
	100	50	200	100	100							
	100	100	100	50	200							
	100	50	100	100	200							
センター試験	100	(50×2) (50)	50×2	①(25×2) ②(50) ③(25×2+50) ④(50×2)	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	100	100	50	100				150		600	
		50		100								

※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

※5 教育福祉科学部の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
<b>教育福祉科学部</b> [5.6] 245人 前期 146 後期 48 推薦 51 <b>人間福祉科学課程</b> 生活環境福祉 30人 前期 20 後期 6 推薦 4	前期	2月25日	国	国	理	物基・物 化基・化 生基・生 地基・地学 小論文		
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B				から1
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1				
		数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4		から1 ※4			
3月12日	理	③物基, 化基, 生基, 地基から2と 物, 化, 生, 地学から1 ※7 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ) から2 ※4	③又は④	その他		面接		
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目〕						
<b>経済学部</b> [4.7] 305人 前期 120 後期 90 AO 20 推薦 75 <b>経済学科</b> 経営システム 学科 地域システム 学科	前期	2月25日	国	国	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ ライティング ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」	から1 ※8	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B				から2 ※2
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
			数	数Ⅰ, (旧数Ⅰ), 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				から1 ※4
	理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰ)から1 ※4	①又は②					
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
	後期	3月12日	国	国	その他	小論文		
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B				から2 ※2
公民			現社, 倫, 政経, 倫・政経	から2 ※2				
数			数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報				から1 ※4	
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科5科目又は5教科5科目〕							
<b>医学部</b> [4.8] 160人 前期 100 後期 15 AO 35 推薦 10 <b>医学科</b> 100人 前期 65 AO 35 <b>看護学科</b> 60人 前期 35 後期 15 推薦 10	前期	2月25日 と26日	国	国	理 数 外 その他	物基・物 化基・化 生基・生 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英Ⅱ・リーディング・ライティング 面接 ※数Bは「数列, ベクトル」	約3倍	
			地歴	世B, 日B, 地理B				から1
			公民	倫・政経				
			数	数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				から1 ※4
	理	物, 化, 生, (物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ) から2 ※4	から2 ※4					
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕						
	前期	2月25日	国	国	その他	小論文		
			地歴	世B, 日B, 地理B				から1
公民			倫・政経	から1				
数			数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A), 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報 ※4				から1	
後期	3月12日	理	物, 化, 生, (理総A, 理総B, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ) から1 ※4	その他	面接			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科5科目〕					

※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。  
 ※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。  
 ※7 「理科」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、出願資格を満たさないこととなります。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												その他の入試方法等
試験の区分	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	推薦 中国引揚 私費外国人  追加合格
個別学力検査				100			100				200	
計	100	50	100	200	100		100				650	
センター試験	100	(50)	50×2	③25×2+50 ④50×2	100						450	
個別学力検査									150		150	
計	100	50	100	100	100				150		600	
センター試験	100	100×2	100×2	①(50×2) ②(100)	200						800	AO入試 推薦 帰国子女 社会人 私費外国人  追加合格
個別学力検査			(200)※8		(200)※8						200	
計	100	200	(400)※8 (200)※8	100	(200)※8 (400)※8						1000	
センター試験	100	100×2	(100)		100						500	
個別学力検査							200				200	
計	100	200	100		100		200				700	
センター試験	100	(50)	50×2	50×2	100						450	AO入試  追加合格
個別学力検査			100	100×2	100				200		600	
計	100	50	200	300	200				200		1050	
センター試験	100	(50)	(100)	(100)	100						450	推薦 社会人  追加合格
個別学力検査							100				100	
計	100	50	100	100	100		100				550	
センター試験	100	(50)	(100)	(100)	100						450	
個別学力検査									100		100	
計	100	50	100	100	100				100		550	

※8 経済学部の個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した科目の得点を合否判定に使用します。

◎36～40ページの「各欄の注意事項」及び「旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について」も確認してください。

学部・課程・学科等名 及び入学定員等 〔平成26年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
工学部 〔4.2〕  370人 前期 238 後期 66 推薦 66  機械・エネ ルギンシ テム工学科 80人 前期 53 後期 15 推薦 12  電気電子工 学科 80人 前期 52 後期 14 推薦 14	前期	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」		
		地歴 公民	世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経				
		2月25日	数				数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4
		理	物, (物Ⅰ) ※4 化, (化Ⅰ) ※4				
	後期	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接		
	3月12日	国	国	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」			
		地歴 公民	世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経				
		数	数Ⅰ, (旧数Ⅰ), 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				
理		物, (物Ⅰ) ※4 化, (化Ⅰ) ※4					
2月25日	国	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」			
	地歴 公民	世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経					
	2月25日	数			数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4		
	理	物, (物Ⅰ) ※4 化, (化Ⅰ) ※4					
3月12日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接			
	後期	国	国	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」			
	3月12日	地歴 公民	世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経				
		数	数Ⅰ, (旧数Ⅰ), 数Ⅰ・数A, (旧数Ⅰ・旧数A) から1 ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, (旧数Ⅱ・旧数B), 工, 簿, 情報から1 ※4				
理		物, (物Ⅰ) ※4 化, (化Ⅰ) ※4					
応用化学科 60人 前期 38 後期 10 推薦 12  福祉環境工 学科 建築 50人 ヲト 30人 計 80人 前期 51 建築 35 ヲト 16 後期 16 建築 10 ヲト 6 推薦 13 建築 5 ヲト 8	2月25日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1  ※数Aは「場合の数と確率, 図形の性質」 数Bは「数列, ベクトル」			

※4 科目名等の( )内の「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・旧数A」「旧数Ⅱ・旧数B」及び「物Ⅰ」「化Ⅰ」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等												その他の 入試方法等
試験の区分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	家 庭	小論文	実 技	面 接	調 査 書	配 点 合 計	
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人  追加合格
個別学力検査			200	200							400	
計	150	75	300	300	200						1025	
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	追加合格
個別学力検査									200		200	
計	125	75	300	200	200				200		1100	
センター試験	150	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 帰国子女 私費外国人  追加合格
個別学力検査			200	200							400	
計	150	75	300	300	200						1025	
センター試験	125	(75)	150×2	100×2	200						900	追加合格
個別学力検査									200		200	
計	125	75	300	200	200				200		1100	



## ◎各欄の注意事項 全学部共通事項

### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(1) 「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません（リスニングテストを免除された者は除く）。

「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、24～35ページの表に記載している大学入試センター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。

(2) 「工業数理基礎」、 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(3) 「旧数学Ⅰ」、 「旧数学Ⅰ・旧数学A」、 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、 「理科総合A」、 「理科総合B」、 「物理Ⅰ」、 「化学Ⅰ」、 「生物Ⅰ」及び「地学Ⅰ」は、「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

### 【その他】

(1) 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

(2) 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

## 教育福祉科学部

### 【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

- ・前期日程の入学定員には、帰国子女入試（若干名）、中国引揚者等子女入試（若干名）、社会人入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）を含みます。ただし、学校教育課程及び人間福祉科学課程生活環境福祉コースにおいては、中国引揚者等子女入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）のみを含みます。

### 【個別学力検査】欄

#### 【前期日程】

(1) 学校教育課程教科教育コースを志望する者は、教科等の組合せから1つを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。

(2) 小論文は、現代社会が抱えるさまざまな課題について、基礎的理解力、論理的・科学的思考力や文章表現力などを問います。

(3) 実技検査の内容は、41～42ページのとおりです。

(4) 理科の出題範囲は次のとおりです。

(ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

(ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(エ) 地学は、「地学基礎」と「地学」を併せた範囲から出題します。

#### 【後期日程】

(1) 面接は、募集単位（志願したコース・選修・分野）ごとに、個人面接と集団面接のいずれか、あるいはそれらの両方を行います。

複数の面接員により、個人面接では募集単位への関心、意欲、理解力及び自己表現力などをみます。集団面接では、出題されたテーマ・課題について、集団で討論を行い、そのテーマに対する理解力、自身の考え・意見の表現力ならびに他者の意見に対する理解力等コミュニケーションに関する能力などをみます。

(2) 実技検査の内容は、43ページのとおりです。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 大学入試センター試験の( )で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
(ア) 地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }	「地理歴史」及び「公民」の科目において、本学が指定する科目を1科目としている場合に2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。
(イ) 理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I) から1 } ①又は② ※4	理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 } 高得点を合否判定に使用 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 第1解答科目 } 第1解答科目の得点を合否判定に使用 第2解答科目 }
(ウ) 地歴 公民 理	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I) から1 } ※1 ③物基, 化基, 生基, 地基から2と物, 化, 生, 地学から1 } ※3 ④物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I) から2 } ※4 ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目と「理科」の①もしくは②又は「地理歴史」及び「公民」から1科目と「理科」の③もしくは④ ※2 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。 ※3 「理科」において、同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点と「基礎を付さない科目」の得点のうち高得点の得点のみを使用します。「地理歴史」及び「公民」で1科目しか受験していない場合は、出願資格を満たさないこととなります。 ※4 科目名等の( )内の「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。	「地理歴史」及び「公民」を2科目受験し、理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 } 高得点の2つ = 合否判定に使用する得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 } 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } ただし、理科の科目において同一名称を含む出題科目同士を選択していた場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 } 高得点の得点 = 合否判定に使用する得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 } 理科の「基礎を付さない科目」の得点 } (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 } 高得点の得点 = 合否判定に使用する得点 「地理歴史」及び「公民」の第2解答科目の得点 } 理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第1解答科目の得点 } 理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第2解答科目の得点 }

教科	科目名等	配点の取扱い
(エ) 地歴 公民 理 数	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I) から1 } ①又は② ※6 ※4 数I・数A, (旧数I・旧数A) } から2 数II・数B, (旧数II・旧数B), } 工, 簿, 情報 ※4 }	受験した科目のうち下記の得点のうち最高得点を合否判定に使用。 「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」の第1解答科目 「数学」2科目の合計点 最高得点を合否判定に使用

(2) 前期日程の個別学力検査の〔 〕で示した配点は、複数の教科・科目を受験できますが、最も高得点のものを合否判定に使用します。

## 経済学部

### 【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

- 後期日程の入学定員には、帰国子女入試（若干名）、社会人入試（若干名）及び私費外国人留学生入試（若干名）を含みます。

### 【個別学力検査】欄

#### 【後期日程】

- 小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力（あるいは大意把握力） (b) 論理的思考力 (c) 表現力

### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

教科	科目名等	配点の取扱い
(ア) 理	①物基, 化基, 生基, 地基から2 } ②物, 化, 生, 地学, (理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学I) から1 } ①又は② ※4	前期日程の理科の科目において、 (a) 「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を受験した場合は、 理科の「基礎を付した科目」2科目の合計点 理科の「基礎を付さない科目」の得点 高得点の得点を合否判定に使用 (b) 「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、 第1解答科目 第2解答科目 第1解答科目の得点を合否判定に使用
(イ) 数	数I・数A, (旧数I・旧数A), } から1 数II, 数II・数B, (旧数II・旧数B), } 工, 簿, 情報 ※4 }	後期日程の数学の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

※4 科目名等の（ ）内の「旧数I・旧数A」「旧数II・旧数B」及び「理総A」「理総B」「物I」「化I」「生I」「地学I」は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」です。新教育課程履修者は選択解答できません。

(2) 個別学力検査及び計の〔 〕と< >で示した配点は、個別学力検査で選択した科目の得点を合否判定に使用します。

## 医学部

### 【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

・看護学科において、後期日程の入学定員には、社会人入試の入学定員(若干名)を含みます。

### 【個別学力検査】欄

#### 【前期日程】

- (1) 医学科において、理科の科目は、試験開始後に2科目を選択してください。
- (2) 医学科において、理科の出題範囲は次のとおりです。
  - (ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。
  - (イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。
  - (ウ) 生物は、「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。
- (3) 医学科の面接は、医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。なお、面接の評価が著しく低い場合には、総合得点に関わらず不合格とします。
- (4) 看護学科の小論文は、課題式や資料式の小論文を出題し、論理的思考力、表現力、読解力及び看護学を学ぶための適性を評価します。

#### 【後期日程】

・看護学科の面接は、看護学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲・倫理観等を総合的に評価します。

### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ・大学入試センター試験の( )で示した配点の取り扱いは次のとおりです。
- (ア) 「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。
  - (イ) 看護学科の数学の科目において、2科目受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
  - (ウ) 看護学科の理科の科目において、「基礎を付さない科目」又は「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」を2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

## 工学部

### 【学部・課程・学科等名及び入学定員等】欄

・前期日程の入学定員には、帰国子女入試(若干名)及び私費外国人留学生入試(若干名)を含みます。

### 【個別学力検査】欄

#### 【前期日程】

- (1) 第1志望の学科に必要な個別学力検査受験科目(理科)を受験していない場合は、第1～第3志望とも判定の対象になりません。
- (2) 第2志望以下の個別学力検査受験科目(理科)は、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」のいずれでもかまいません。
- (3) 理科の出題範囲は次のとおりです。

(ア) 物理は、「物理基礎」と「物理」を併せた範囲から出題します。

(イ) 化学は、「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

#### 【後期日程】

- ・面接では志望学科やそれに関わる分野への関心、意欲、積極性、理解力、自己表現力をみます。

#### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ・大学入試センター試験の（ ）で示した配点の取り扱いは次のとおりです。

「地理歴史」及び「公民」の科目において、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。なお、第1解答科目が本学の指定した科目でなかった場合は、**出願資格を満たさないこと**となりますので、第1解答科目は、必ず本学が指定する科目の中から選択してください。

### ◎旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置について

平成27年度一般入試における旧教育課程履修者に対する数学・理科の経過措置は、次のとおりです。

#### 大学入試センター試験の数学、理科の科目について

旧教育課程履修者については、24～35ページの表の【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄において（ ）内に記載した「旧教育課程履修者に対する経過措置に係る科目」で受験することを認めます。

#### 個別学力検査の出題教科・科目について

個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では、旧教育課程履修者に不利益が生じることがないように配慮します。

#### 新・旧教育課程履修者について

新教育課程履修者 (数学, 理科)	①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成24年4月に入学し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成27年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成24年4月に進級し、数学、理科に関し新教育課程を履修し、平成27年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込み者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込み者、在外教育施設修了者又は修了見込み者、及び高等学校等を平成27年3月卒業見込みであるが、入学は平成24年3月以前の者など、上記に該当しない者

【注】「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいい、「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。



13. 一般入試における実技検査の内容（教育福祉科学部）

(1) 前期日程実技検査の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該課程・コース・分野に関わる資質を評価します。)

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
学 校 教 育 課 程  教 科 教 育 コ ー ス	<p>◎全項目必須です。</p> <p><u>1. コールユーブンゲン</u>            コールユーブンゲン第1巻, No.39~71 (原書番号) の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p><u>2. 声楽</u>            次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。            (歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○を付け, 伴奏譜を入学志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。)</p> <p>* Nel cor più non mi sento    パイズィエツロ    作曲    ヘ長調            * Caro mio ben                    ジョルダーニ    作曲    変ホ長調            * Intorno all'idol mio            チェスティ    作曲    ホ短調            * 叱られて                        弘田 竜太郎    作曲    変イ長調</p> <p><u>3. 器楽(ピアノ)</u>            ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章(ただし, 緩徐な楽章は除きます。)を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。            (演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 入学志願書とともに提出してください。)</p>	
美術	B3画用紙に鉛筆によるデッサンを行います。モチーフは当日指定します。	鉛筆, 消しゴム, 練りゴム
保健体育	1. 基礎的運動能力(短距離走, 立ち幅とび, 反復横とび, 20mシャトルラン) 2. 身体及び用具操作の基礎的能力	運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ (スパイク不可)

課程等	検査項目及び検査の内容	検査当日持参するもの
情報 報 社 会 文 化 課 程	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
	A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。	表現に適した服装。床面の都合でトウシューズは使用できません。
	B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。	鉛筆描写に必要な用具（カルトンと用紙は本学が準備します。）
	C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。 <u>1. コールユーブンゲン</u> コールユーブンゲン第1巻, No.45~71 (原書番号)の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。  <u>2. 音楽による自己表現</u> 演奏の場合は, 任意の楽曲を1曲選び, 暗譜で演奏してください。 演奏手段は, 声楽, ピアノのいずれかです。作曲の場合は, 自作品を1曲以上提出し, 試験日当日にその作品について説明してください。  ※ 演奏の場合は, 本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し, 入学志願書とともに提出してください。 ※ 声楽の場合は, 志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を, 入学志願書, 曲目調査票とともに提出してください (伴奏者は本学が用意します)。 ※ 作曲の場合は, 自作品を入学志願書とともに提出してください。作品の提出は原則として楽譜 (コピー楽譜可) によるものとしますが, 楽譜ではなく録音・映像等によって記録された作品である場合 (たとえばコンピュータ音楽など) は, CDやDVDなどのメディアを提出してください。 なお, CDは一般の日本製CDプレイヤーで再生可能な録音形式, DVDは一般の日本製プレイヤーで再生可能なビデオ形式にしてください (DVDの場合, 必ずファイナライズ処理を行ってください)。	
人間福祉科学課程	(スポーツ・健康分野) 心理健康福祉コース  与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】実技検査で昼食が必要な場合には、検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。



(2) 後期日程実技検査の内容

(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該課程・コース・分野に関わる資質を評価します。)

課程等	検査の内容	検査当日持参するもの
情報 総合表現 文化 課程	<p>検査室内の約5 m×5 m, 天井までの高さ約3 mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。</p> <p>(1) 検査方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査は検査室に1人ずつ入室して行います。</li> <li>・入室してから表現を完了し、退室するまでの検査時間は8分以内です。</li> <li>・自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。</li> <li>・あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。</li> <li>・表現に使用する用具や材料は各自で準備し、持参してください。</li> </ul> <p>(2) 検査室について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流100V, 15Aの電源を使用することができます。</li> <li>・検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。</li> <li>・検査室には土足で入室できません。ただし、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。</li> <li>・録音した音楽や音などを使用する場合は各自再生器材を持参してください。</li> </ul> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。</li> </ul>	<p>ピアノ以外の表現に使用する用具や素材、器材は各自持参してください。</p>
人間福祉科学課程 (スポーツ・健康分野)	<p>与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。</p>	<p>運動服            屋内用スポーツシューズ</p>

【注1】実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

【注2】総合表現コースの実技検査内容は、前期日程と後期日程では異なっていますので、十分注意してください。

#### 14. 個別学力検査の日程及び検査時間

##### 【前期日程】

- ・◎は必須，△は選択を示します。
- ・筆記試験の入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了してください。
- ・筆記試験は当該検査終了まで退室できません。
- ・筆記試験の遅刻による検査室への入室限度時刻は，検査開始後20分です。
- ・面接又は実技集合時刻に遅刻した場合は，受験者の1組目又は1人目の検査が始まるまでに限り，受験を認めます。

学部	課程・学科 ・コース等		検査日	2月25日(水) 検査科目等				2月26日(木) 実技検査, 面接等		備考 (教科・科目の 選択方法等)
	検査時間			9:10 }	11:10 }	13:30 }	15:30 }	集合 時刻	9:30	
教育福祉科学部	学校教育課程	発達教育コース			◎小論文		◎英語			
		特別支援教育コース		△国語	◎小論文	△数学	△英語			複数教科 選択可
		教科教育コース		△国語 △社会認識 △理科 △生活認識	◎小論文	△数学	△英語	△実技〔音楽〕 10:00~16:30 △実技〔美術〕 10:00~13:00 △実技 〔保健体育〕 10:00~15:30 (詳細は実技検査の内容参照)		教科又は実技 から1つ選択
		情報社会文化課程		社会文化コース		◎国語		◎英語		
		情報教育コース		△国語		△数学	◎英語			複数教科 選択可
		総合表現コース						◎実技10:00~16:30 (詳細は実技検査の内容参照)		
	人間福祉科学課程	社会福祉コース			◎小論文		◎英語			
		心理健康 福祉コース	心理分野	△国語	◎小論文	△数学	△英語			複数教科 選択可
			スポーツ・ 健康分野	△国語		△数学	△英語	◎実技10:00~16:00 (詳細は実技検査の内容参照)		複数教科 選択可
		生活環境 福祉コース	生活分野	△国語	◎小論文	△数学	△英語			複数教科 選択可
			環境分野	◎理科	◎小論文					
		経済学部	検査時間		13:30~15:10					
経済学 科 経営システム学科 地域システム学科			△数学 △英語							
医学部	検査時間		10:00 }	13:30 }	15:30 }					
	医 学 科		◎理科	◎数学	◎英語		◎面接 午前の部 8:30集合(予定) 午後の部 12:45集合(予定) ※面接の集合時刻は，午 前の部と午後の部で異 なります。集合時刻に ついては，受験票送付 の際にお知らせします。			
	看 護 学 科		◎小論文							
工学部	検査時間		10:00~11:30		13:30~15:10					
	全 学 科		◎理科		◎数学					

【後期日程】

- ・筆記試験の遅刻による検査室への入室限度時刻は、検査開始後20分です。
- ・面接又は実技集合時刻に遅刻した場合は、受験者の1組目又は1人目の検査が始まるまでに限り、受験を認めます。

学部	検査日	3月12日 (木)				
	課程・学科・コース等	検査科目	検査時間	集合時刻等		
教育福祉科学部	学校教育課程	発達教育コース	面接	10:00~15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者は、9:30までに集合し、入室着席(場所は当日掲示)してください。</li> <li>・面接・実技の終了時刻は変更することがあります。</li> <li>・面接・実技を受験する者は検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので検査場に昼食を持参してください。</li> </ul>	
		特別支援教育コース	面接	10:00~15:30		
		教科教育コース	面接	10:00~15:30		
	情報社会文化課程	社会文化コース	面接	10:00~15:30		
		情報教育コース	面接	10:00~15:30		
		総合表現コース	実技	10:00~16:30		
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	面接	10:00~15:30		
		心理健康福祉コース	心理分野	面接		10:00~15:30
			スポーツ・健康分野	実技		10:00~16:00
		生活環境福祉コース	生活分野	面接		10:00~15:30
環境分野			面接	10:00~15:30		
経済学部	経済学 経営システム学 地域システム学	小論文	10:00~11:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9:30までに入室着席を完了してください。</li> <li>・当該検査終了まで退室できません。</li> </ul>		
医学部	看護学	面接	午前の部 9:00~12:30 (予定) 午後の部 13:30~15:40 (予定)	午前の部 8:30集合(予定) 午後の部 13:00集合(予定) ・面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については、受験票送付の際にお知らせします。		
工学部	全学	面接	10:00~16:00 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9:30までに集合(検査場所は当日掲示)してください。</li> <li>・検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので、検査場に昼食を持参してください。</li> </ul>		

## 15. 受験に際しての注意事項

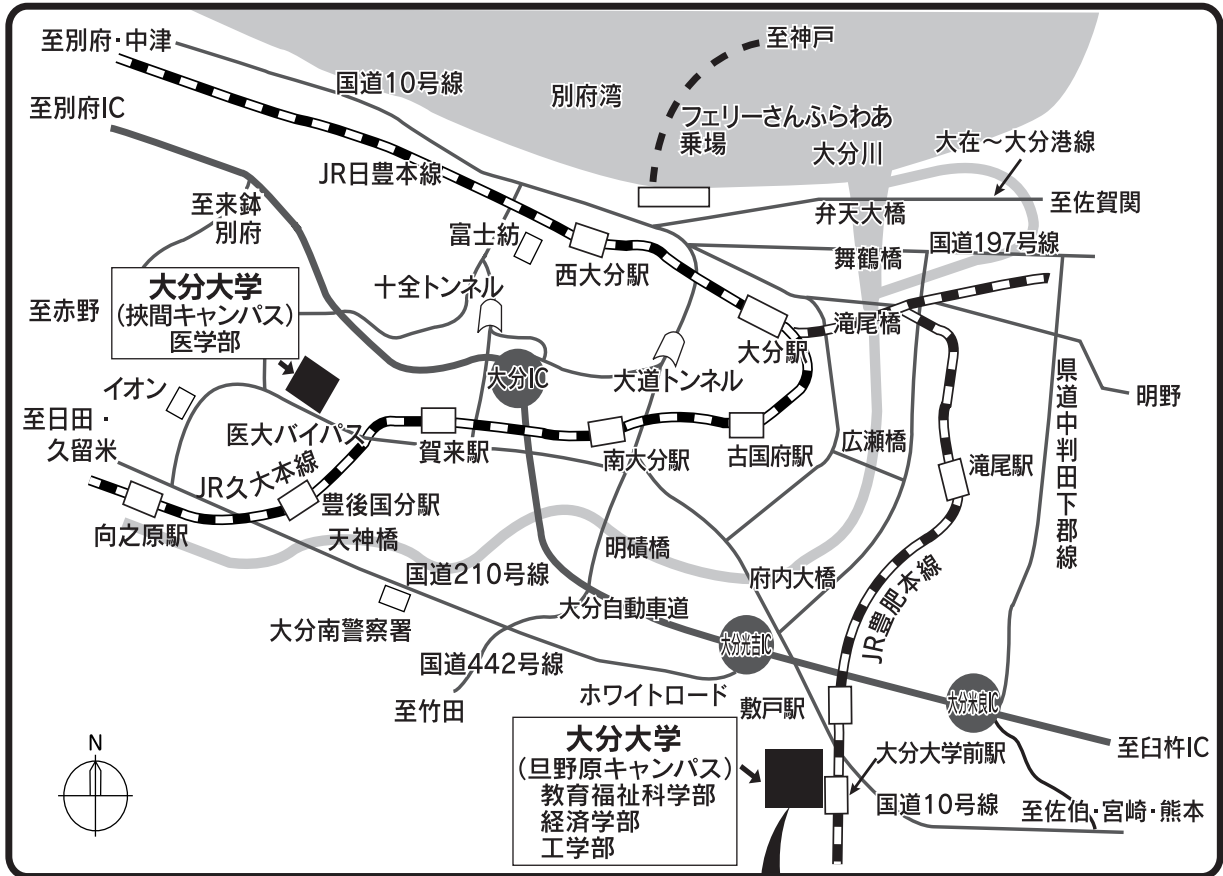
- (1) 入室着席は検査開始時刻の30分前までに完了し、入室後は監督者の指示に従ってください。
- (2) 学力検査中は、本学受験票及び大学入試センター試験受験票を必ず机の上に置いてください。
- (3) 受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計機能のみの時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬以外のものを机の上に置かないでください。なお、他の持ち物については、監督者の指示に従ってください。
- (4) 出願時に届け出た科目以外の科目を受験した場合、当該科目は無効となります。
- (5) 実技検査を受験する者は、検査ができる準備をして、検査開始時刻の30分前までに教育福祉科学部棟玄関前に集合してください。なお、運動服に着替えるための更衣室は準備していますが、運動服を着て集合してもかまいません。
- (6) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分ゆとりをもって行動してください。
- (7) 検査当日は渋滞が予想されますので、余裕をもって検査場に到着するようにしてください。
- (8) 携帯電話等の電子機器類の使用について
  - ・検査室内では、休憩時間中でも携帯電話等の音の出る機器の使用を一切禁止します。
  - ・検査時間中は、時計代わりに携帯電話等の時計機能を使用することはできません（机の上に置くことができません）。
  - ・検査室に入る前に、携帯電話等のアラームの解除と電源が切れていることを必ず確認してください。アラームの設定ができる時計についても、必ずアラームは解除して使用してください。
  - ・携帯電話等には、電源を切っても、アラームを設定していると、設定した時刻に電源が入り、アラームが鳴る機種があります。機種にかかわらず、アラームの解除と電源が切れていることを確認し、身につけずに、かばん等にしまってください。
  - ・アラームの解除方法がわからない人や電源の切り方がわからない人、しまっておくかばん等がない人は、試験場本部や試験監督者又は大学の試験担当職員に受験番号と名前を告げ、携帯電話等を預けて指示に従ってください。

## 16. 検査場

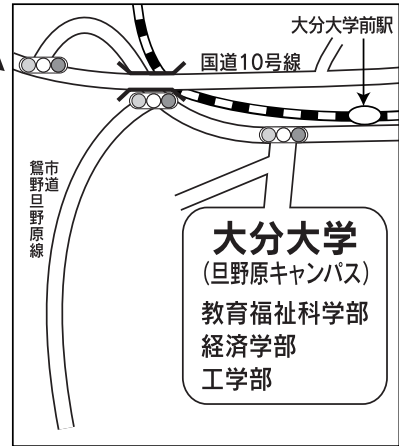
学部名	検査場	所在地
教育福祉科学部 経済学部 工学部	大分大学 <small>だんの はる</small> 旦野原キャンパス	大分市大字 <small>おおあざだんの はる</small> 旦野原700番地
医学部	大分大学 <small>はさま</small> 挾間キャンパス	由布市 <small>ゆふしはさままちいだいがおか</small> 挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

- (1) 検査場の下見は、各検査日前日の14時～16時の間に行ってください。ただし、挾間キャンパスについては検査前日に授業があるため、建物内に入ることはできません。
- (2) 各検査場及び検査室は掲示板で確認してください。実技検査は、当日検査開始30分前までに受験票で指定した集合場所に集合し、係員の指示に従ってください。
- (3) 検査当日、自動車等で来学する場合は、係員の指示に従ってください。  
なお、旦野原キャンパスには自動車での入構はできますが、駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関等を利用してください。また、挾間キャンパスには十分な駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。
- (4) 挾間キャンパスでは、試験時間中に医学部附属病院救命救急センターのドクターヘリによる患者緊急搬送が行われる場合があります、その離着陸の際、一時的に大きな音が発生することがあります。この場合は生活騒音として扱い、原則、試験を続行することとしていますので、予めご了承ください。

# 大分大学位置図



大学入口案内図



だんのはる  
**巨野原キャンパス**

(教育福祉科学部, 経済学部, 工学部: 大分市大字巨野原700番地)

< JR利用 >

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車(大分駅より約12分), 徒歩約10分

< バス利用 >

大分バス 大分バス本社前〔トキハデパート前1番のりば〕から

○「大南団地・高江ニュータウン」行きを利用(約40分), 「大分大学」又は「大分大学正門」下車  
 (詳細は時刻表で確認してください。)

○「戸次, 臼杵, 竹田, 佐伯」行きを利用(約40分), 「大分大学入口」下車, 徒歩約10分

●臨時バスの運行

検査場の下見時及び検査当日大分大学まで次のとおり大分バスが臨時バスを運行する予定です。(約40分)

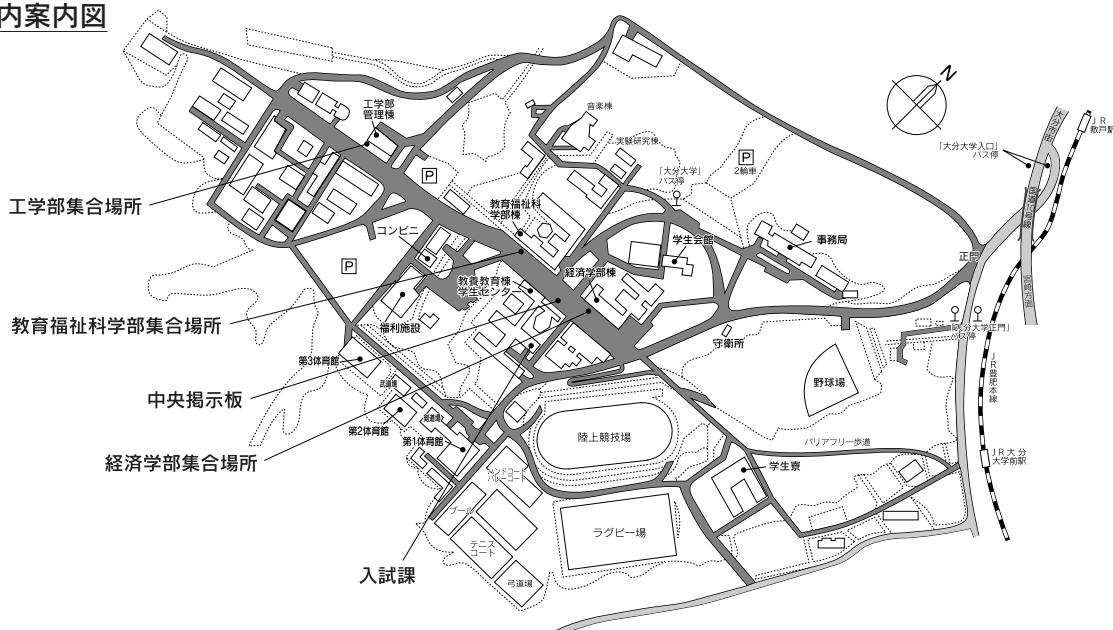
詳しくは大分バス(TEL 097-525-9882)にお問い合わせください。

検査場の下見=前日程検査日の前日(2/24(火))13時ごろから→大分バス本社前〔トキハデパート前1番のりば〕から

検査当日=前日程検査日(2/25(水))の7時30分ごろから→大分バス本社前〔マクドナルド前3番のりば〕から

※2/26(木), 3/11(水), 3/12(木)は臨時バスの運行はありません。

**学内案内図**



はさま  
**挾間キャンパス**

(医学部: 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地)

< バス利用 >

大分バス 大分バス本社前〔トキハデパート前2番のりば〕又はJR大分駅北口〔大分駅前4番のりば〕から

○「大学病院」行き又は「大学病院」経路を利用(約40分), 「大学病院」下車

●臨時バスの運行

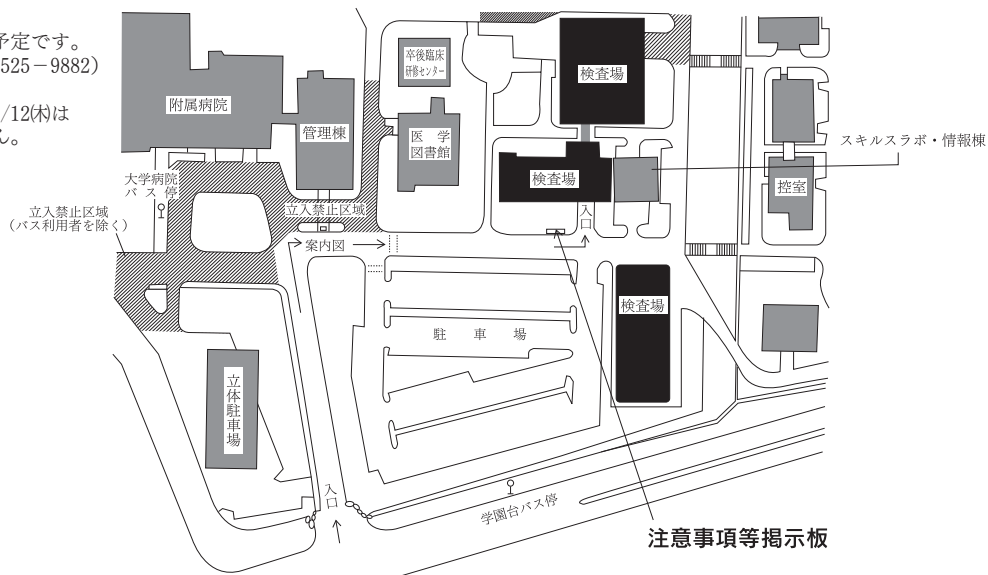
2/25(水)は臨時バスを運行する予定です。

詳しくは大分バス(TEL 097-525-9882)

お問い合わせください。

※2/24(火), 2/26(木), 3/11(水), 3/12(木)は

臨時バスの運行はありません。





## 17. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
- (ア) 入学志願書、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
  - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
  - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - (エ) 検査時間中に、問題冊子を検査室から持ち出すこと。
  - (オ) 解答用紙を検査室から持ち出すこと。
  - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - (キ) 検査時間中に、携帯電話や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - (ク) 検査時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
  - (ケ) 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- (ア) 検査時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - (イ) 検査時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
  - (ウ) 検査に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
  - (エ) 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - (オ) 検査場において監督者等の指示に従わないこと。
  - (カ) その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 18. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学教養教育棟（旦野原キャンパス）の中央掲示板（全学部合格者）及び医学部管理棟前（医学部合格者）に受験番号を掲示するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。また、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）においても公表します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

合格者発表日時	前期日程	平成27年3月6日（金） 10時
	後期日程	平成27年3月20日（金） 10時

## 19. 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。なお、入学手続には大学入試センター試験受験票も必要ですので、受験後も保管しておいてください。

### (1) 入学手続期間

期間	前期日程	平成27年3月14日（土）・15日（日）17時まで
	後期日程	平成27年3月26日（木）・27日（金）17時まで

※入学手続の詳細は、合格通知とともに郵送します。なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。



## (2) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）

【注1】入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは、入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については、学生・キャリア支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。

【注2】入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】既納の入学料は返還できません。

(3) 国公立大学に入学手続完了後は、それを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

## 20. 追加合格

入学手続完了者が定員に満たない場合、いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者を対象に、追加合格により欠員補充を行うことがあります。

入学志願書に記載している追加合格連絡先に電話連絡で入学意志の確認を行いますので、下記期間中は連絡先に待機しておいてください。なお、追加合格の有無については、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にて確認することができます。

連絡期間	平成27年3月28日（土）～平成27年3月31日（火）
------	-----------------------------

## 21. 情報提供

(1) 大分大学ホームページへの掲載について

下記の期間、大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に掲載します。

区 分	掲 載 期 間
出 願 状 況	平成27年1月27日（火）11時～3月12日（木）
合格者受験番号 （前期日程）	平成27年3月6日（金）10時～3月12日（木）
合格者受験番号 （後期日程）	平成27年3月20日（金）10時～3月26日（木）
追加合格実施状況	平成27年3月28日（土）11時～3月31日（火）

(2) 本学の情報は、大分大学ホームページで見ることができます。

(3) 入学試験個人成績の開示について

本学においては、大分大学入学者選抜試験個人成績を受験者本人に限って開示します。

開示を希望する場合は、次の要領で申し込んでください。

申込期間：平成27年5月1日（金）から6月30日（火）17時まで（必着）

※土日及び祝日は除きます。

申 込 者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

申込方法：下記の書類等を持参又は郵送で学生支援部入試課に提出してください。

- ①入学試験個人成績開示申請書（本学入試課に直接来学するか、大分大学ホームページから印刷して入手してください。）
- ②個別学力検査の受験票のコピー
- ③写真付きの身分証明書のコピー
- ④返信用封筒（長形3号の封筒に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、392円分の切手（簡易書留郵便料金分）を貼ってください。）

開示方法：受験者本人宛に簡易書留郵便で後日送付します。

開示内容：平成27年3月下旬に、大分大学ホームページでお知らせします。

## 22. 入試過去問題の使用

大分大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加を表明しています。ただし、出題科目である「数学」と「小論文」並びに教育福祉科学部の「生活認識を問う問題」は参加しません。

(1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出された問題を使用して出題することがあります。

なお、過去問題は必ず使用するとは限りません。

(2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、入試過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、受験者にわかる形で使用過去問題を公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のホームページにて公表しています。 <http://www.nyushikakomon.jp/>

## 23. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に対応の詳細をすみやかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7471) です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

## 24. 受験の際の宿泊

宿泊を希望する者は、この「一般入試学生募集要項」に同封されている「宿泊のご案内」を参照してください。

## 25. 大分大学学生寮のご案内（予告）

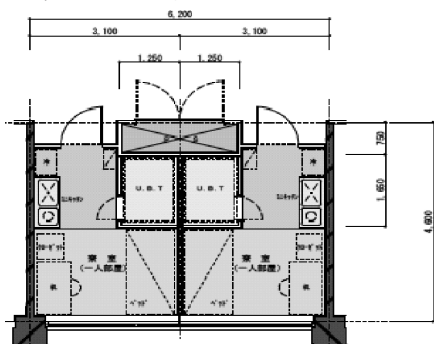
前期日程・後期日程を受験の方は、入学試験前のお申し込みとなりますので、ご注意ください。予告内容は変更になる場合があります。正式には「学生寮入寮者募集要項」（平成26年12月上旬公表）でご確認ください。

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

医学部のある挾間キャンパスまでは、約10kmの距離ですが、バスや電車利用の場合90分程度を要します。

入寮者の選考は、地理的事由（自宅からの通学時間90分以上）および経済的事由等を考慮して行います。

### 《学生寮の概要》



（上図は2部屋を示します。）

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
男子・女子・留学生	290名	290室	1名	鉄筋5階建

（身体等に障がいのある学生 男女各1名を含む。）

□居室の形態 1人部屋（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UTB（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付

### 《必要経費》

寄宿料	維持管理費（共益費）	インターネット料	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円/月	2,000円/月	2,000円/月	40,000円/入居時

・光熱水費（電気・水道）は自己負担となります。

### 《募集人員等》

□募集人員：140名程度（大学院入学生を含む。）

□入寮許可：2年間（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

### 《選考区分等》

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	AO入試・編入学試験・社会人入試・推薦入試・特別入試・一般入試(前期日程)の合格者	一般入試(後期日程)の合格者
申込期間	平成27年1月26日(月)～2月4日(水)	
結果通知	平成27年3月10日(火)	平成27年3月24日(火)

□試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

□大学院入学生については、選考Ⅱにより選考します。

### 《入寮者募集要項の入手方法》（募集要項公表：平成26年12月上旬）

#### 冊子版をご希望の方

請求先 大分大学学生支援部学生・キャリア支援課

〒870-1192 大分市大字且野原700番地（TEL 097-554-7443）

請求方法 大分大学学生支援部学生・キャリア支援課窓口でのお受取り又は郵便での請求ができます。

返信用封筒（角形2号、郵便番号、住所及び氏名を明記し、140円切手を貼付したもの）を同封の上、請求する封筒の表に「入寮者募集要項請求」と朱書してください。

#### デジタル版をご希望の方

大分大学公式ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ→学生生活→寮・アパート）

〔問い合わせ先〕大分大学学生支援部学生・キャリア支援課(学生寮担当) TEL 097-554-7443 E-mail kagaikss@oita-u.ac.jp

26. 平成26年度入学者選抜に関する入試状況

選抜区分	推薦入試				AO入試				特別入試(帰中社私)				一般入試(前期日程)				一般入試(後期日程)				合計								
	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学	募集	志願	受験	入学					
教育学部	課程・学科・コース等																												
	発達教育コース																												
	特別支援教育コース	5	19	19	5	5																							
	教科教育コース	13	31	31	13	13																							
	学校教育課程 計	18	50	50	18	18																							
	社会文化コース	5	11	11	5	5																							
	情報教育コース	5	6	6	5	5																							
	総合表現コース	5	5	5	3	3																							
	情報社会文化課程 計	15	22	22	13	13																							
	社会福祉コース	6	12	12	6	6																							
経済学部	心理健康	5	15	15	5	5																							
	福祉コース	3	16	16	3	3																							
	生活環境	2	6	6	3	3																							
	福祉コース	2	5	5	3	3																							
	人間福祉科学課程 計	18	54	54	20	20																							
	教育福祉科学部 計	51	126	126	51	51																							
	経済学科																												
	経営システム学科	80	114	114	80	80																							
	地域システム学科																												
	経済学部 計	80	114	114	80	80																							
医学部	医学科																												
	看護学科	10	40	40	10	10																							
	医学部 計	10	40	40	10	10																							
工学部	機械・エネルギーシステム工学科	12	22	22	14	14																							
	電気電子工学科	14	29	29	12	12																							
	知能情報システム工学科	15	32	32	16	16																							
	応用化学科	12	21	21	13	13																							
	福祉環境工学科(建築コース)	5	8	8	7	7																							
	福祉環境工学科(メカトロニクスコース)	8	24	24	8	8																							
	工学部 計	66	136	136	70	70																							
	合計	207	416	416	211	211	50	272	123	50	36	32	10	8	604	2,068	1,841	700	638	219	2,348	953	256	213	1,080	5,140	3,365	1,227	1,120

## 27. 平成26年度一般入試合格者の成績

### 【前期日程】

学 部	課程・学科（コース・分野）	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	19	21	650	468.60	404.50	429.97
	特別支援教育コース	3	4	650			
	教科教育コース	41	46	650	499.50	391.10	432.75
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	7	8	650			395.01
	情報教育コース	11	13	650	414.20	298.10	345.21
	総合表現コース	7	10	650	519.70	436.90	465.54
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	24	26	650	498.30	377.60	412.02
	心理健康福祉コース	14	16	650	486.00	387.00	415.26
	（心理分野）	7	8	650			419.64
	（スポーツ・健康分野）	7	8	650			410.88
	生活環境福祉コース	20	20	650	419.00	382.50	402.13
（生活分野）	10	10	650	419.00	382.50	396.89	
（環境分野）	10	10	650	417.40	399.90	407.37	
経 済 学 部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	120	160	1,000	754.60	592.20	632.63
医 学 部	医学科 看護学科	65 35	65 39	1,050 550	837.50 427.90	723.70 343.90	757.20 362.85
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科	53	57	1,025	730.25	541.40	604.45
	電気電子工学科	52	58	1,025	693.95	535.60	588.71
	知能情報システム工学科	44	53	1,025	735.25	566.75	623.95
	応用化学科	38	43	1,025	730.45	541.30	607.90
	福祉環境工学科建築コース	35	38	1,025	715.80	573.00	622.50
	福祉環境工学科メカトロニクスコース	16	22	1,025	735.10	550.30	606.91

### 【後期日程】

学 部	課程・学科（コース・分野）	募集人員	合格者数	満点	最高点	最低点	平均点
教育福祉科学部	学校教育課程						
	発達教育コース	6	9	550			343.44
	特別支援教育コース	2	2	550			
	教科教育コース	11	17	550	433.60	361.20	383.81
	情報社会文化課程						
	社会文化コース	3	4	500			
	情報教育コース	4	9	500			338.40
	総合表現コース	3	5	500			
	人間福祉科学課程						
	社会福祉コース	5	7	600			403.06
	心理健康福祉コース	8	9	600			428.78
	（心理分野）	3	4	600			
	（スポーツ・健康分野）	5	5	600			
	生活環境福祉コース	6	8	600			390.23
（生活分野）	3	4	600				
（環境分野）	3	4	600				
経 済 学 部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	90	93	700	555.20	442.00	467.36
医 学 部	医学科 看護学科	— 15	— 13	— 550	— 440.40	— 321.00	— 376.58
工 学 部	機械・エネルギーシステム工学科	15	16	1,100	855.600	805.725	822.370
	電気電子工学科	14	20	1,100	879.300	794.275	821.420
	知能情報システム工学科	11	12	1,100	848.800	786.900	812.670
	応用化学科	10	14	1,100	871.425	804.550	833.660
	福祉環境工学科建築コース	10	12	1,100	875.475	811.750	834.660
	福祉環境工学科メカトロニクスコース	6	6	1,100			797.050

※追加合格者は除く。

※合格者10人未満の場合は、平均点のみ開示。

※合格者が5人以下の場合は、個人情報となるので不開示。

## 入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 おおいたし おおあざだんの はる 大分市大字巨野原700番地  
大分大学学生支援部入試課  
TEL 097(554)7471  
FAX 097(554)7472  
URL <http://www.oita-u.ac.jp/>